CAR MATE®　　　取説番号　0073-3101A

# 取扱説明書

## 【使用編】

## TE660
## テレコントロール・エンジンスターター

STARTEX
TELECONTROL ENGINE STARTER

国産12Vオートマチック車専用

## もくじ

## まえがき

この取扱説明書は、テレコントロール・エンジンスターターTE660をご使用頂くためのガイドブックです。
この製品は、一定の安全条件を満たしている場合に、遠隔操作により車のエンジンをスタートさせる（ドアロック／アンロックさせる）とともにターボエンジン装着車のタービントラブルを未然に防ぐためにアフターアイドリングを行う装置です。この製品を正しく安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用ください。お読みになった後も、この取扱説明書は、車検証入れなどすぐに取出せる場所に保管し、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、お役立てください。
また、本品を譲られる場合は、次に使用される方に本書も併せてお渡しください。尚、誤った取付、使用による事故、破損などの責任は一切負いかねます。

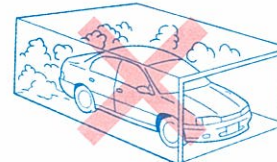
## 注意事項の定義

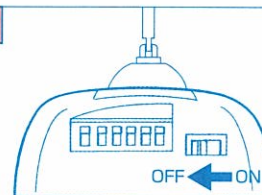
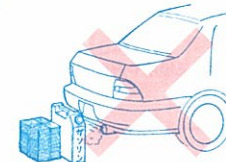
この取扱説明書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。各々の定義（意味）を十分に理解された上でお取扱いください。

- ⚠危険　重大事故が起こる状況のもの。
- ⚠警告　人体に対し、危害が生じる恐れのあるもの。
- ⚠注意　物品を破損、故障させる恐れのあるもの。
- ⚠禁止　法律に違反する恐れのあるもの。
- ☞参考　取付け、取扱いにおいて知っていると有益な情報。

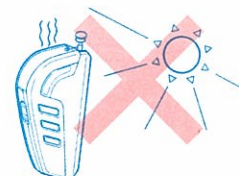


## ご注意

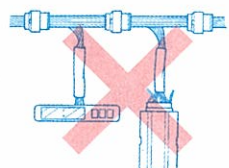
### [警告事項]

換気の良くない場所（ガレージ・立体駐車場・地下駐車場等）で使用しないでください。
排気ガスが充満して大変危険です。

車にボディーカバーを掛けたままで使用しないでください。
火災の恐れがあります。

車を他人に預ける時（整備に出す等）には、車載機のメインスイッチをOFFにしてからお預けください。
誤操作による事故の恐れがあります。

車の近くに燃えやすいものがないことを確認してから、ご使用ください。火災の恐れがあります。

携帯機は、お子様の手に届く場所には、置かないでください。
誤操作による事故の恐れがあります。

お子様などを車内に残したままで、使用しないでください。
事故の恐れがあります。

携帯機は、直射日光の当たる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所で、保管または使用しないでください。
携帯機が高温になりやけどや故障の原因となります。

# [注意事項]

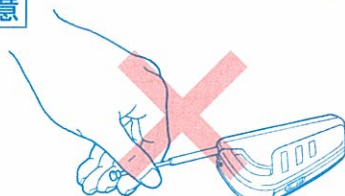
**⚠注意**

ターボタイマー(スターター含む)や盗難防止機(SQシリーズ除く)との、併用取付けはしないでください。
誤作動の原因となります。

**⚠注意**

携帯機を床に落としたり硬いものにぶつけたりしないでください。
故障の原因となります。

**⚠注意**

携帯機は直接水のかかる場所や湿気の多い場所で、保管または使用しないでください。
故障の原因となります。

**⚠注意**

携帯機のアンテナに強い力がかかるような持ち方をしないでください。破損の原因となります。

**⚠注意**

長期間使用しないときは、携帯機の電池を抜き、車載機のメインスイッチをOFFにしてください。故障の原因となります。

**⚠注意**

製品が汚れた場合は、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をよく絞ってから拭き、乾いた布でもう一度拭いてください。
ベンジン、シンナー等の化学薬品は、絶対に使用しないでください。
変形・変色や故障の原因となります。



# [禁止事項]

**⚠禁止**

この製品は、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解したり、改造することは、法律で禁じられておりますので、絶対にしないでください。

**⚠禁止**

製品に貼付の技術適合証明ラベルをはがしたり、ラベルのないものを使用することは、法律で禁じられておりますので、絶対にしないでください。

**⚠禁止**

安全な場所でご使用ください。道路で使用すると違法となりますので、絶対にしないでください。

**⚠禁止**

この製品は、日本の電波法に適合しています。国外での使用は、違法となる場合がありますので、おやめください。

**⚠禁止**

一部地域(兵庫県等)では、暖気運転以外の目的で使用すると条例違反となります。

# [取付禁止車]

●オートマチック車専用です。
マニュアル車にはお取付けできません。

**⚠危険**

マニュアル車への取付けは、絶対にしないでください。
マニュアル車は、冬季にサイドブレーキの凍り付を防ぐため、サイドブレーキを引かずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れ駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。
その際に、エンジンスターターを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。

●国産車専用です。
外車にはお取付けできません。

●12V車専用です。
トラックなどの24V車には、お取付けできません。

●89年以前の車でシフトロックが装着されていない車(フットブレーキを踏まずにセレクトレバーが「P」から移動できる車)には、お取付けできません。

●エンジン始動時に下記のような場合にはお取付けできません。

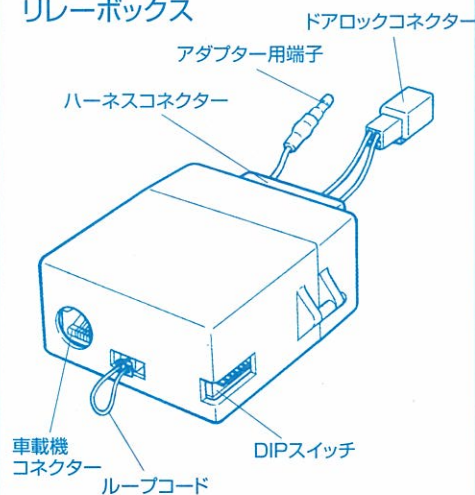
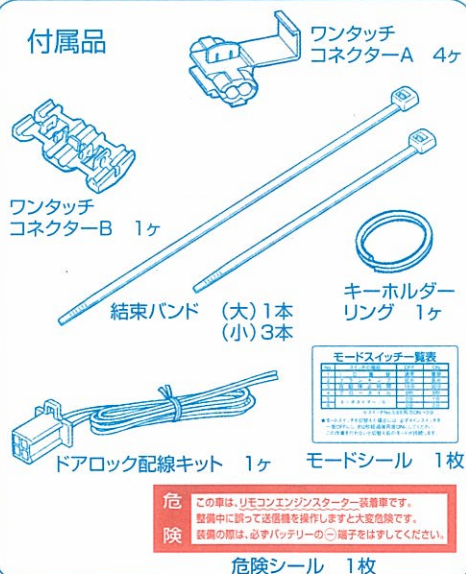
[アクセル操作が必要な車]　[チョークレバーを引く車]　[年間通じて、キーを回して2秒程度でエンジンのかからない車]

●ホンダ車の雨滴感応ワイパー装備車には、お取付けできません。取付けすると故障の原因となります。

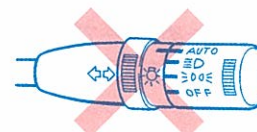
# 製品構成および各部の名称

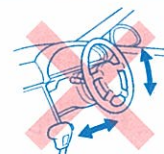
## 携帯機

## 車載機

## リレーボックス

## 付属品

# ご使用の前に

**参考** 電波到達距離は、周囲の環境や使用状況により異なります。車と送信場所との間に建築物等がある場合には、電波到達距離が短くなります。

**⚠注意**

オートライトコントロール装着車は、ライトスイッチがAUTOの位置でエンジンスターターを作動させると、オートライト機能が正常に作動しない場合がありますので、ライトスイッチは必ずOFFの位置にしてご使用ください。

**⚠注意**

オートチルトおよびマイコンプリセットステアリング装着車は、エンジンスターターでエンジン始動した状態でイグニッションキーを差込んでもオートチルトおよびマイコンプリセットが作動しなくなりますので、キーでエンジンを再始動してください。

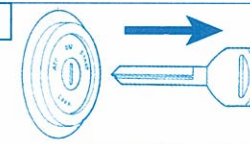
**⚠注意**

リモコンドアロック装着車は、エンジンスターター装着後にリモコンドアロックシステムが作動しない場合がありますので、キーでドアを開け閉めしてください。

## 以下のことがらを確認の上、ご使用ください。

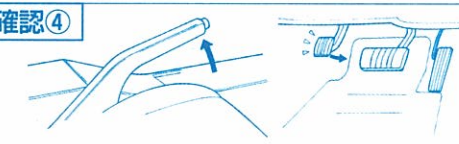
**確認①**

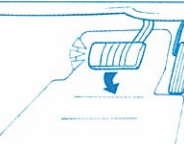
セレクトレバーはパーキング（Pレンジ）に入れてあること。

**確認②**

キーは、必ず抜いてあること。

**確認③**

ボンネットは、必ず閉めてあること。

**確認④**

サイドブレーキは必ず引いてあること。（サイドブレーキ検出時）

**確認⑤**

フットブレーキは必ず踏まれていないこと。

# 機能説明および操作方法

## 1 安全機能

### ●フットブレーキ確認機能

イグニッションキーがOFFの状態での走行を防止するため、キーでイグニッションをONするまえに、フットブレーキを踏むとエンジンをストップさせせます。

### ●サイドブレーキ確認機能

エンジンスタート時の暴走を防止するため、サイドブレーキが引かれていないとエンジンスターターでエンジンスタートできません。
また、キーでイグニッションをONにするまえに、サイドブレーキを降ろすとエンジンをストップさせます。
寒冷地などで、冬にサイドブレーキを使用しない場合は、サイドブレーキ検出を解除できます。[解除方法はTE660取扱説明書・取付編の3-2.サイドブレーキ検出コードの接続（7ページ）を参照してください。]

### ●ブザー確認機能

エンジンスターターによるエンジン始動中（ターボタイマー作動中）であることを確認するため、エンジンスターターによるエンジン始動中（ターボタイマー作動中）は車載機のブザーが1秒おきに鳴り続けます。

### ●オートストップ機能

エンジンスターターでエンジンをスタートさせた後、車に乗らなかった場合、エンジンスタート後、15分もしくは30分で自動的にエンジンをストップさせせます。
[自動停止時間の設定は、この取扱説明書のモードスイッチについて（11ページ）を参照してください。]

### ●誤操作防止機能

携帯機の電源スイッチをOFFにすると、ボタン操作が無効となり、誤操作を防止できます。



## 2 携帯機の機能

※携帯機の操作を行う場合には、下記の項目をあらかじめ確認および参考にしてください。

確認① 車載機のメインスイッチをONにすること。

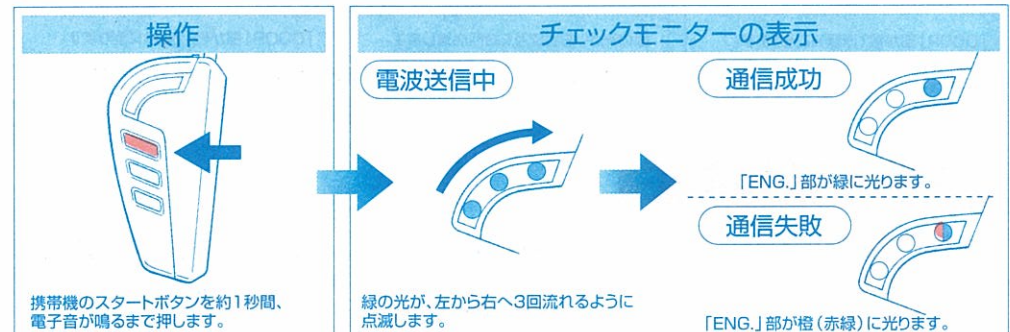
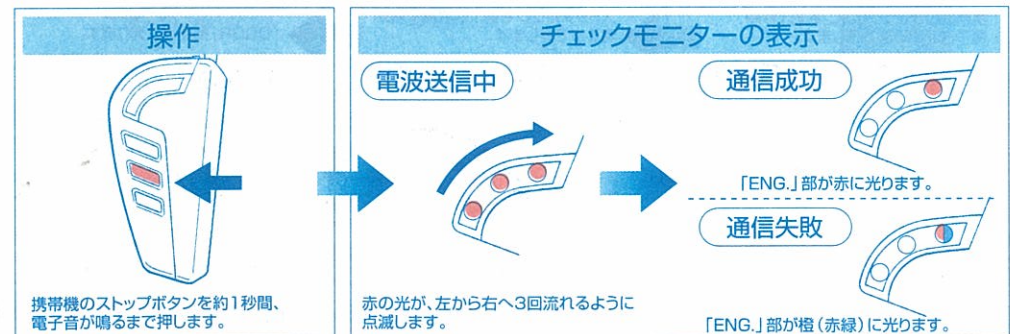
確認② 携帯機の電源スイッチをONにすること。

参考 携帯機のアンテナは十分伸ばすこと。
アンテナを十分伸ばしていないと送信距離が極端に短くなります。

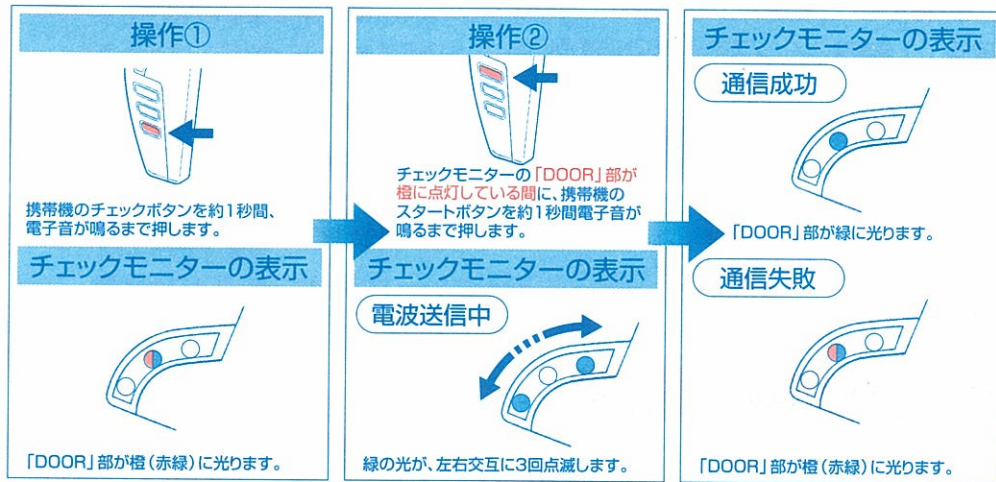
参考 携帯機のボタン操作は、電子音が鳴るまで押し続けること。押す時間が短いと送信しません。

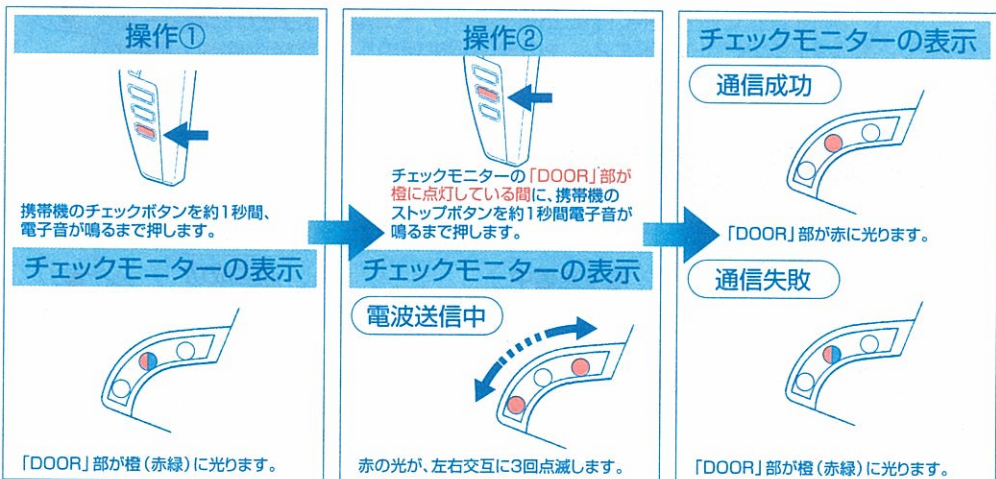
参考 連続して送信する場合には、携帯機のチェックモニター表示後3秒以上あけてください。
間隔が短いと送信しません。

## 2-1 エンジンスターターの操作方法

### エンジンスタートのやりかた

### エンジンストップのやりかた

# 2-2 ドアロック／アンロックの操作方法

※ドアロック／アンロックコードの配線を行っていない場合、
ドアロック／アンロックの操作はできません。

## ドアロックのやりかた

参考 操作①と操作②は連続して行ってください。間があきすぎると、車両状態チェックモードになります。

## ドアアンロックのやりかた

参考 操作①と操作②は連続して行ってください。間があきすぎると、車両状態チェックモードになります。



# 2-3 車両状態チェックの操作方法

## アンサーバック機能

TE660は、携帯機と車載機で双方向の通信を行います。携帯機のチェックモニターで右記の車両状態が確認できます。

チェックモニター
エンジンのスタート・ストップの確認
ドアのロック・アンロックの確認
車内温度の目安の確認

## 車両状態チェックのやりかた

参考 車のエンジンをスタートさせてから車載機が始動判断するのに20秒から最大2分程度必要となります。その間、携帯機のチェック信号は受付けません。チェックモニター表示は通信エラーとなります。（ストップ・ドアロック・アンロックの信号は受付けます。）

操作①
携帯機のチェックボタンを約1秒間、電子音が鳴るまで押します。

チェックモニターの表示
「DOOR」部が橙（赤緑）に光ります。

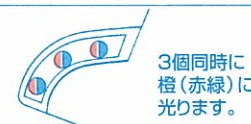
チェックモニターの表示
電　波　送　信　中
「DOOR」の橙が消灯後、右から左へ緑・橙（赤緑）・赤の順に光ります。

### 車両状態チェック

| エンジンスタート・ストップの確認 | ドアロック・アンロックの確認（注1） | 車内温度の目安の確認 |
|---|---|---|
| エンジン始動状態　発光色：緑 | ドアロック状態　発光色：緑 | 赤点滅 50℃ |
| エンジン停止状態　発光色：赤 | ドアアンロック状態　発光色：赤 | 赤点灯 40℃ |
| | | 橙（赤緑）点灯 10℃ |
| | | 緑点灯 0℃ |
| | | 緑点滅 |

車内の温度状態の目安を5段階で表示します。

通信エラー状態　携帯機と車載機の間で電波のやりとりが行えない状態。TE660は、特定小電力10mWタイプです。電波法上、使用周波数帯域での電波ノイズが多い場合は、送信できません。このような状態や障害物等で電波の届かない場合には、通信エラーとなります。

3個同時に橙（赤緑）に光ります。

（注1）TE660のドアロック・アンロックの確認は、携帯機による操作信号を車載機が記憶し、その内容を携帯機へ送ります。従って、キーでドアロック・アンロックした場合など、携帯機以外で操作を行うと、実際と異なる状態を表示します。また、ドアロック・アンロックコードを接続していない場合にも、携帯機の操作信号を車載機が記憶しますので、その状態を表示します。

# 3 車載機の機能

## 3-1 モードスイッチについて

### ●スイッチNo.1・・・・・ID書替機能

携帯機を紛失した場合に、スペアの携帯機のIDに書替えできます。

⚠注意 スイッチNo.1は、IDを書替える場合のみ使用します。通常使用する場合は、必ずOFFの位置でご使用ください。ONになっていると正常に作動しません。

### ●スイッチNo.2・・・・・クランキングタイム切替機能

冬場などエンジンの始動性が悪い場合に、クランキングタイム（セルを回す時間）を長くできます。

### ●スイッチNo.3・・・・・自動停止時間切替機能

寒冷地など暖気に時間のかかる場合に、自動停止時間を長く（30分）できます。

### ●スイッチNo.4・・・・・グロータイム切替機能

ガソリン車やクイックグローのディーゼル車のために、イグニッションONからセルを回すまでの時間を短くできます。

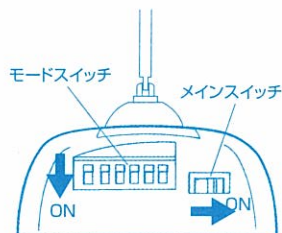
### ●スイッチNo.5,6・・・・・ターボタイマー機能

ターボタイマーのアフターアイドリング時間を設定できます。
（アイドリング時間：０分／１分／２分／３分の４段階）

参考 スイッチNo.5、6を両方ONにするとアフターアイドリング時間は3分となります。
スイッチNo.5、6が両方OFFの場合、アフターアイドリングは行いません。

**アフターアイドリングを途中で中止する方法**

下記のいずれかの操作で、アフターアイドリングを中止できます。
●車載機のメインスイッチをOFFにする。
●携帯機のストップボタンを押す。
●アフターアイドリング開始から2秒経過後、車のブレーキペダルを踏む。
（2秒以内にブレーキペダルを踏んでも、アフターアイドリングは中止されません。）

参考 ターボタイマーは、イグニッションキーをONからACCにしたことを感知するしくみになっています。従って、エンジン停止中でも、キーをONからACCにするとターボタイマーが作動します。
（アフターアイドリング時間内、イグニッションがONになります。）
また、ターボタイマー作動中は、安全のためスターターのセルを回せなくしています。
キーでエンジンをかける際など、誤ってターボタイマーを作動させた場合は、上記のアフターアイドリングを途中で中止する方法に従って、ターボタイマーを停止させてください。



## モードスイッチ一覧表

| スイッチNo. | スイッチの内容 | OFF（出荷時） | ON |
|---|---|---|---|
| 1 | ID書替機能 | 通常 | 書替 |
| 2 | クランキングタイム切替機能 | 短め | 長め |
| 3 | 自動停止時間切替機能 | 15分 | 30分 |
| 4 | グロータイム切替機能 | 8秒 | 5秒 |
| 5 | ターボタイマー機能 | 0分 | 1分 |
| 6 | ターボタイマー機能 | 0分 | 2分 |

※モードスイッチを切替えた場合には、必ずメインスイッチを一度OFFにし、約2秒経過後再度ONにしてください。この作業を行わないと切替え前のモードが持続します。

参考 付属のモードシールを車内の見やすい場所に貼付ておくと、モードスイッチの機能確認に役立ちます。

## 3-2 メインスイッチについて

メインスイッチは、車載機の電源のON・OFFを行います。

⚠注意 整備の時など他人に車を預ける際には、誤操作を防止するためにメインスイッチをOFFにしてからお預けください。

## 3-3 LED発光部について

### ●パワーインジゲーター機能

車載機の電源がONになるとLEDが発光し、電源のON・OFFを一目で確認できます。

### ●盗難予防機能

エンジン停止中は、LEDが左右に流れるように赤く発光し、夜間など不審者を心理的に威嚇する効果を発揮します。

### ●エラーモニター機能

エンジンがかからない場合に、不具合箇所をLEDの点滅のしかたでお知らせします。
エラーモニターの詳細については、TE660取扱説明書・取付編の「エンジンがスタートしない場合」（12、13ページ）を参照してください。

### ●バッテリーチェック機能

車のバッテリーが弱っている場合（12V以下）、各々のLEDの発光時間が短くなります。

# 4 その他の機能

### ●リスタート機能

エンジンスターターでエンジンを始動させる時、最初のクランキング（セルスタート）でエンジンがかからなかった場合、最大3回までクランキングを行います。

### ●スリープモード機能

15日間エンジンをかけなかった場合、車のバッテリーを保護するため、車載機の機能を自動的に停止させます。車載機の機能を回復させるには、下記の手順を行ってください。
①メインスイッチを一度OFFにし約2秒経過後再度ONにします。

# 故障かな?と思ったら

| こんな時 | 確認してください。 | こうしてください。 |
|---|---|---|
| 携帯機のボタン(START)を押してもエンジンがかからない。もしくはドアロック/アンロックできない。 | ● 1秒以上ボタンを押し続けましたか? | ● 1秒以上ボタンを押し続けてください。 |
| | ● 携帯機の電池が消耗していませんか? | ● 電池の交換方法(裏表紙)を参照して電池の確認および交換をしてください。 |
| | ● 携帯機の電池の⊕⊖を逆に入れていませんか? | ● 電池の交換方法(裏表紙)を参照して電池を正しく入れ直してください。 |
| | ● 携帯機のアンテナが収納されていませんか? | ● 携帯機のアンテナを十分伸ばしてください。 |
| | ● 車載機のスイッチNo.1がONになっていませんか? | ● 車載機のスイッチNo.1をOFFにしてください。 |
| ドアロックもしくはアンロックしない | ●ドアロック/アンロックの適合車種ですか? | ●店頭の車種別ハーネス適合表で適合を確認してください。 |
| | ●ドアロック/アンロックコードは正しく配線されていますか? | ●ドアロック/アンロックコードを正しく配線してください。 |
| キーでイグニッションを回してもエンジンがかからない。 | ● 専用ハーネスが緩んでいませんか? | ● ハーネスのコネクターを確実に差し込んでください。 |
| | ● セレクトレバーは「P」になっていますか? | ● セレクトレバーを「P」にしてください。 |
| | ● バッテリーは上がっていませんか? | ● バッテリーを充電もしくは新品と交換してください。 |
| | ● ターボタイマーが作動していませんか? | ● ターボタイマーを停止させてください。 |



※下記項目(13、14ページ)を確認しても不具合が直らない場合は、TE660取扱説明書・取付編の「エンジンがスタートしない場合」(12、13ページ)を参照して再度確認してください。

| こんな時 | 確認してください。 | こうしてください。 |
|---|---|---|
| 電波到達距離が短くなった。 | ● 携帯機のアンテナが収納されていませんか? | ● 携帯機のアンテナを十分伸ばしてください。 |
| | ● 携帯機の電池が消耗していませんか? | ● 電池の交換方法(裏表紙)を参照して電池の確認および交換をしてください。 |
| | ● 車載機のアンテナが何かに接触していませんか? | ● 車載機のアンテナの向きを調整してください。 |
| 携帯機のボタン(STOP)を押してもエンジンが止まらない。 | ● キーでエンジンを始動していませんか?(キーでイグニッションをONにしていませんか?) | ● 携帯機のボタンでエンジンを止められるのは、携帯機でエンジンを始動させた場合です。キーでエンジンを止めてください。 |
| | ● 1秒以上ボタンを押し続けましたか? | ● 1秒以上ボタンを押し続けてください。 |
| | ● 携帯機の電池が消耗していませんか? | ● 電池の交換方法(裏表紙)を参照して電池の確認および交換をしてください。 |
| | ● 携帯機のアンテナが収納されていませんか? | ● 携帯機のアンテナを十分伸ばしてください。 |
| セルは回るが、エンジンがかからない | ● 専用ハーネスのカプラーはすべて接続していますか? | ● 専用ハーネスのカプラーをすべて接続してください。 |
| 走行中もブザー音が鳴り続ける。 | ● 安全コードは正しく接続していますか? | ● 安全コードを正しく接続してください。 |

## 電池の交換方法

⚠警告 電池を充電、分解、ショート、火に投下するなどしないでください。
発火、発熱、破裂するなどの原因となります。

⚠警告 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管してください。
万一飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

⚠警告 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。
他の金属や電池と接触すると発火、破裂の原因となります。

※携帯機のボタン（START）を押した後、チェックモニターがなにも反応しなくなったら電池の交換時期です。

☜参考 電池寿命は、使用頻度にもよりますが約半年程度です。（送信回数約750回）。製品にセットされている電池は、出荷時に機能や性能をチェックするためのモニター用ですので電池寿命が短くなる場合があります。

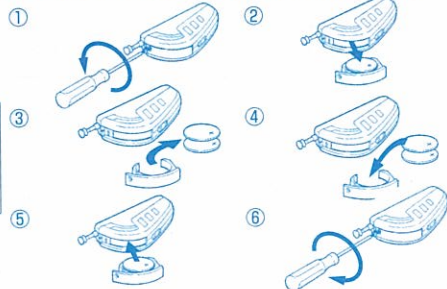
使用電池　　リチウム電池CR2025　2個

図を参照して下記の手順にしたがって、電池を2個とも新品に交換してください。

①精密⊕ドライバーを使用してネジを外します。
②電池ケースを手前に引き出します。
③古い電池（2個）を取り出します。
④新しい電池（2個）を⊕側を上にして入れます。

☜参考 電池の⊕⊖の向きを間違えないよう交換してください。

⚠注意 電池の⊕⊖の向きを間違えて入れますと、電池が極端に消耗します。間違えた場合には、必ず新しい電池と交換してください。

⑤電池ケースを入れます。
⑥精密⊕ドライバーを使用してネジをしっかりと締めます。

## 携帯機を紛失した場合

携帯機を紛失または破損（修理不可能）した場合には、スペアの携帯機を当社サービスセンターにて注文できます。

☜参考 一度スペア携帯機を作成すると、以前の携帯機はご使用になれなくなります。

## アフターサービスについて

*e-relations*

私たちは、お客様とe-mailを通じてコミュニケーションすることで、より良い商品開発ができると考えました。ご要望、ご感想などをお聞かせ頂ければ幸いです。

この商品の開発者は
**baribari.ceg@carmate.co.jp**

返信に時間のかかることがございます。至急に対応の必要なご質問などは、下記の弊社サービスセンターへお問い合わせください。


**★商品のお問い合わせは**

**■東京テクニカルセンター**　スターター・ターボタイマー・セキュリティ専用ダイヤル
☎(03) 3320-9579（代表）　FAX (03) 3320-9428
〒164-8611 東京都中野区弥生町3-35-13

**■札幌テクニカルセンター**（11月～1月まで冬季限定）
☎(011) 864-4007（代表）　FAX (011) 860-2264

http://www.carmate.co.jp/